

(単元) 漢文「古代の史話を読む」

(本時のねらい)

- ①訓読のきまりに従って、正確に、繰り返し本文を読み、漢文の調子になれさせる。
- ②脚注や漢和辞典を利用して全文を口語訳し、全体の内容を把握・理解できるようにさせる。
- ③疑問・二重否定・反語などの句法に習熟し、訓読や口語訳の際に正確に扱えるようにさせる。
- ④帝堯の治世伝説を通して、古代中国の為政者の理想像、及びその理想的な政治のあり方を理解させる。
- ⑤「鼓腹撃壤」の故事成語としての由来を正確に理解させる。

(ICT 活用方法)

注意すべき句法を電子黒板に投影して説明することで、生徒の理解を促す。生徒はワークシートに書き込む。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT 活用方法
導入 2分	1 「鼓腹撃壤」の意味を考える。	1 これまでに「鼓腹撃壤」という言葉を聞いたり、使ったりしたことがあるか、確認してみる。	
展開 35分	1 本文の訓読に慣れる。 2 口語訳できるよう、脚注や辞書で不明の語句の意味を調べる。 3 帝堯の人柄を通して、為政者としての理想像がどのような形で表現されているかを考える。 4 童謡や老人の歌に込められた人々の思いを考える。	1 音読を繰り返し、漢文の口調に慣れさせる。 2 基本句形の意味を理解させる。漢和辞典の利用法に習熟させる。口語訳し、不明の点を明らかにする。 3 「天・神・日・雲」の比喻の働き、「土階三等」や「不知」の意味や内容を明確にさせる。 4 一見矛盾した表現の中に、治世の表裏を示していることに注目させる。	1 本文を電子黒板に投影する。 2 句法を電子黒板に投影する。
まとめ 13分	1 帝堯の人柄をまとめる。 2 帝堯の政治に関する疑問は解消できたかどうか、考える。	中国人の理想とする治世、世の中を理解させる。	1 電子黒板で示す。

